

# 文月 愛南文芸

## 城辺川柳会

### 「風」

古い家重い雨戸が風止める	佐賀
人恋しい独居を風がノックする	暁
風の便り元気でないと言う噂 <small>うわさ</small>	律子
顔を上げプラス思考に風光る	一会
雨風に闘う選手見て拍手	富士子
平穏な日は吹く風も心地良い	つるみ
風切って歩いたところが恥ずかしい	拡
身の丈の幸せ風に聞いている	百代
腐葉土のみみず騒 <small>さわ</small> つく畑打ち	加納 幸子
初鯉高値手を打つ競りの市 <small>がつお</small>	北原 桃代

## はじめまして。赤ちゃん。

5月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

## ご冥福をお祈りします。

5月受付分(敬称略)

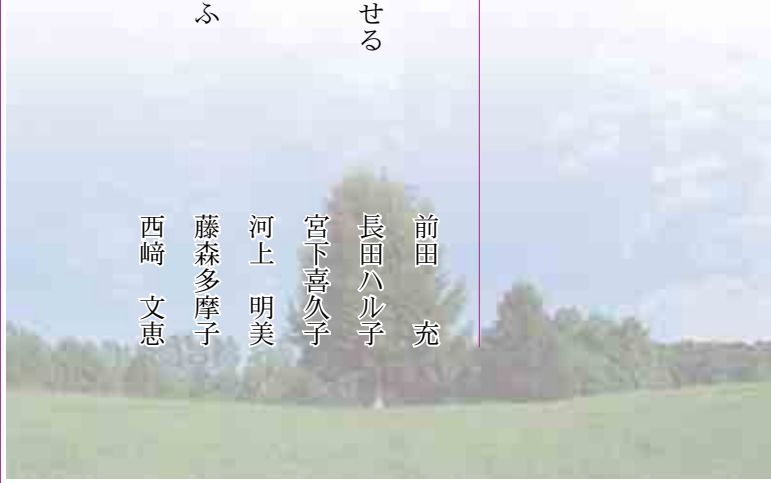
地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

雨上がりこぼれる程に芽吹山めぶきやま  
遠き日の芒のぎの痛さや麦の秋  
ま緑に映える紫桐むらさきとうの花  
架橋成る島に変わらず夏の潮  
大和田いそ子  
山田 静恵  
宮田志賀子  
大浜 紀子

### 新くさの葉短歌会

石楠花しゃくなげのあけぼの色に咲く朝窓あした開けてみよと亡夫つつまの声する  
物言わぬ日々がつづけば何となくものさびしくて猫ねこだきよせる  
孫達の巣立ちし春のさみしさよ夫と二人ふたりの一日の長し  
客のなき店に一日姉あねといて亡き父母ちちははの話の尽きず  
こうばしく炒いりてつくりし新茶あたらなり香りたかきを御仏みほとけに供そなふ  
夏草なつくさは早生はやおいしげり弟あにの地藏菩薩じぞうぼさつも還暦えんれきとなりぬ

前田 充  
長田ハル子  
宮下喜久子  
河上 明美  
藤森多摩子  
西崎 文恵



※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。